

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	電子制御装置		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	2年後期	・ 月～水曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	60. 8時限（期末試験を除く）		
担当教員名	入江 正和 ・ 八木 孝治 ・ (他1名)		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるエンジンの点検整備や不具合原因の探求についての実習を実施する。		
授業の目的	故障現象に基づいて、現象の確認・問診・不具合原因の推定及び点検・原因の特定が行えるようになること。		
テキスト	①実習テキスト（学校編集） ②二級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	エンジン故障原因探求	単品部品を使用して、エンジン内部の部品による故障とその原因を探求する。	①、②
第2回			
第3回	車輻故障原因探求	車輻に設定している故障を確認し、その原因を探求する。	①
第4回			
第5回	オシロスコープ	オシロスコープを使用して、波形を確認・比較することで故障原因探求に活かす。	①
第6回			
第7回	12か月点検	点検を通して、保安基準不適合箇所や故障箇所を探求する。	
第8回			
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第7回までの授業内容に関する実技試験	別途課題
	期末試験	第1回～第7回までの授業内容に関する実技試験	

到達目標	不具合現象の確認・問診・原因の推定・点検及び原因の特定に至るまでの基本的な流れを習得すること。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。